

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和05年12月25日						
計画の名称	塩尻市小坂田公園の既存ストックを活用した機能再編													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	塩尻市													
計画の目標	塩尻市では、最重要施策として「子育てしたくなる街日本一」を目指しており、子育て世代をはじめとする市民全員が安心して暮らせる生活環境を持続可能とするために、立地適正化計画を策定し、令和元年5月に公表した。 本事業は、居住誘導区域内の公園面積が不足（約1.9㎡/人）していることが本市の課題であるとの認識のもと、本市唯一の総合公園である小坂田公園を、魅力ある公園に機能再編するとともに、地域振興バスによる公共交通ネットワークの強化を図ることで、居住誘導区域内住民の公園利用ニーズの受け皿を創出するものである。 また、本市では、「共働き世帯増加に伴う、学校長期休み時の児童館の逼迫」「園庭が狭小な保育園が存在」等の課題に対応するため、市と教育委員会の運動機関である「こども教育部」と市の「建設事業部」が連携し、小坂田公園と子育て施設（保育園や児童館）を庁用バスで結び、「室内アスレチック（計画）」や「自由広場（計画）」を子どもが存分に利用できる仕組み作りを行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,502	A	1,502	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	機能再編前後で、小坂田公園の利用実態調査を行い、利用者数（公園来場車両数）の増加率30%を目指す。 利用者増加率＝{（整備後の調査において把握した1日あたり来場車両数）/（整備前の調査において把握した1日あたり来場車両数）-1}×100			
		0%	0%	30%
2	機能再編前後で、市民に対する小坂田公園の利用満足度調査を行い、満足との回答の増加率20%を目指す。 利用者満足度増加率＝{（整備後の調査において把握した満足との回答率）/（整備前の調査において把握した満足との回答率）-1}×100			
		0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	塩尻市	直接	塩尻市	-	-	都市公園ストック再編事業	機能再編を主とした再整備	塩尻市	■	■	■	■	■	1,498	2.8	-	
	A12-002	公園	一般	塩尻市	直接	塩尻市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業	民間と連携した公園再整備	塩尻市		■				4		-	
												小計						1,502		
											合計						1,502			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	355	202	79		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	355	202	79		
前年度からの繰越額 (d)	0	290	201		
支払済額 (e)	65	291	277		
翌年度繰越額 (f)	290	201	3		
うち未契約繰越額(g)	275	169	3		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	77.46	34.34	1.07		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	令和2年度第三次補正予算関係	令和3年度補正予算関係			